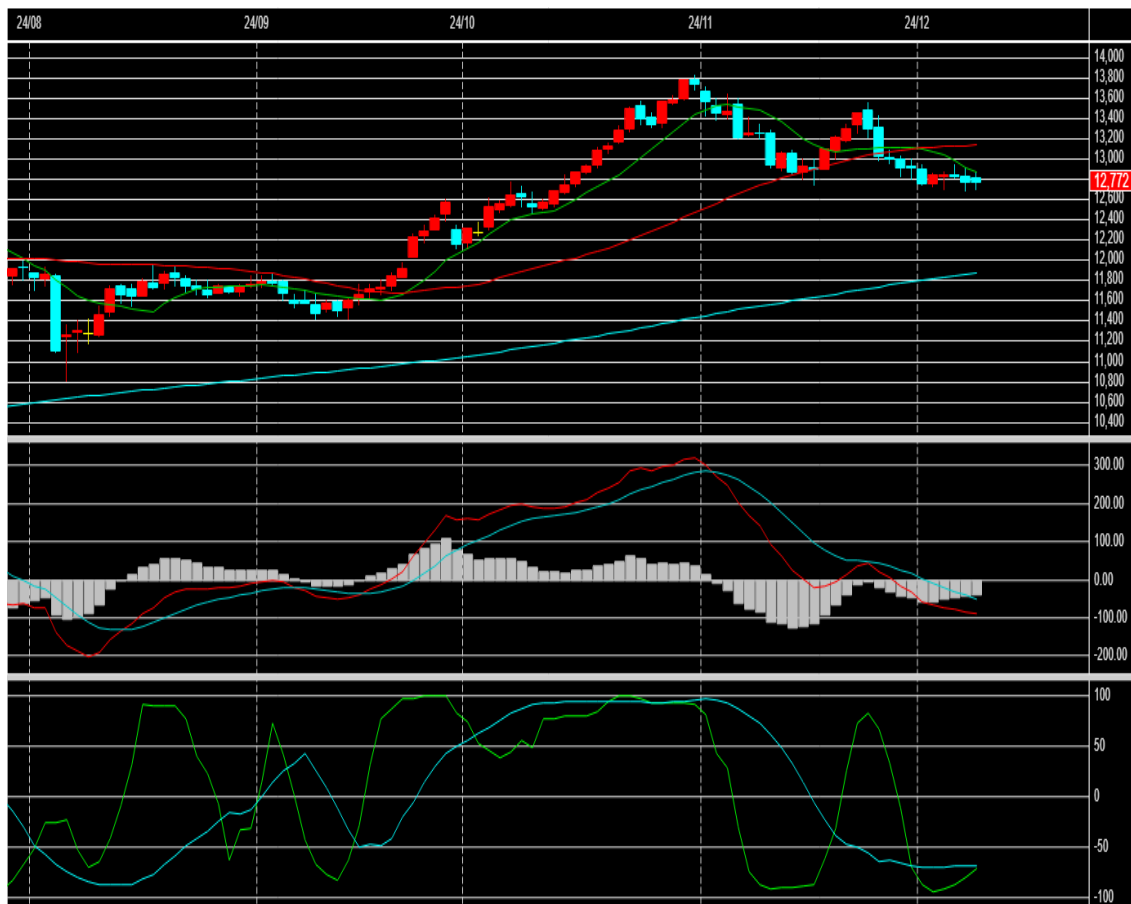


<金標準、ビットコインの上昇で抑えられた値動きの金標準先物・・・>



(出所：オアシス)

パウエルFRB議長は、12月4日にNYで開催されたNYタイムズ主催のディールブックサミットでビットコインに対して「人々はそれを支払い手段や価値の保存手段として使用していない。それは非常に変動が激しく、ドルの競争相手ではなく、実際には金の競争相手である」と述べている。そのため5日にトランプ次期大統領が暗号資産推進派のポール・アトキンス氏を証券取引委員会（SEC）の次期委員長に指名したことで、ビットコインは10万ドルを超えて史上最高値を付けた事から金標準価格はリスクオン基調に押されて、12668円まで急落を見せている。また週末の雇用統計でも非農業部門雇用者数が前月から大きく増加し22.7万人増となるも失業率が前月の4.1%から4.2%へ上昇し、18日に今年最後のFOMCで利下げ観測が高まるも金標準先物は、一時149.30円までの円高の動きを受けて伸びを欠き、12772円で推移している。特に来週はECB理事会を控え、ユーロ安の動きが強まると見られ、金標準先物も再度12500円に向けた動きに注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACAが下げ渋りながら、シグナルは下げている。RCIでは短期が切り上げながら、長期は下値で横ばいを示している。特に日足が10日移動平均線の下落で抑えており、13000円を超えるかが焦点になると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,359,000 円(2024 年 12 月 9 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 12 月 9 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>